

# Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

# 神奈川県

## K・Y さん (母) K・F さん (加入者)

#### ♡お母さまより

無事、満19歳を迎えることができました。ありが とうございました。

娘は今年大学2年生になります。子育てもあと3年で ひといき、というところまできました。基金の制度が あったこと、子育ての中で大変心強く感じました。

## ○加入者さまより

長い間大変お世話になりました。来年成人式を迎え ます。皆様のおかげで、大学にも通えています。

自分の夢の実現のために、日々努力を続けていきたい と思います。

#### 新潟県

# M・N さん (加入者) M・N さん (母)

#### ○加入者さまより

図書カードありがとうございます。もらった図書 カードは本の購入に使いたいと思います。中学に行っ ても頑張ります。

#### ♡お母さまより

この度は橋本給付金と図書カードをありがとうござい ました。子どもの教育のため、使用させていただきます。 家族の近況としては、コロナの影響も薄まり、ほぼ コロナ前の状況に戻った感覚です。とはいえ、物価高騰 で引き続き今後の心配事が絶えない状況でもあります。 子ども達が困ることなく、望む将来に向かえるよう、 頑張っていきたいと思います。

今後も、一緒に子どもの成長を見届けて下さると大変 嬉しく思います。

## 埼玉県

## Y・Tさん(母)

この度は「橋本給付金|のお祝い金並びに図書カー ドの送付、ありがとうございました。無事に高校進学 も決まり親子共々安堵しているところです。

中学校生活がちょうどコロナ禍と重なり、多くの 行事や部活動が制約を受ける中での3年間でしたが、 息子なりに新たな目標を見つけ、これから先大きく 羽ばたいていくことを願っています。本当にありがと うございました。

## 長野県

## 0・S さん (母)

この度、育成給付金完了となり7年間大変お世話に なりました。

また、完了給付金と図書カードまでいただきありが とうございました。息子は今、1人暮らしをしながら 大学に通っております。育成給付金のおかげで、経済 面での不安を感じたり、心配することなく、息子の選ん だ道を応援してあげることができました。

親子共々心から感謝しております。本当にありがと うございました。

## 愛知県

## S・U さん (母)

2月14日は長女の15歳の誕生日です。そして亡き 夫の誕生日でもあります。夫と娘の誕生日を一緒に お祝いできたのは1回だけでした。そんな長女も4月 から高校生になります。小学校の頃からの夢を叶える ため、自分を信じて努力してほしいです。

きっと夫も長女のすぐそばで応援していると思います。











# 滋賀県

# MIKI さん (父)

いつもお世話になりありがとうございます。

スマイルズ、いつも楽しみにしています。「ボイス」や「レターズ」が私の心の励みや支えになっています。 交通事故で家族を亡くした苦しみや悲しみ、また それを抱えながら強く生きておられる皆様の声を知れる いい機会になっています。

スマイルズの向こう側に私たち家族と同じ境遇の方がいらっしゃると思うと、それだけで強く生きようというか、頑張ろうという気持ちになれます。

## 福岡県

# A·S さん (加入者) A·T さん (母)

#### ⇔加入者さまより

長い間ご支援をいただき、誠にありがとうございました。現在はシステムエンジニアになるために熊本大学工学部で学んでいます。ご支援をいただいていた事に恥じぬよう、これからも努力いたします。

#### ♡お母さまより

息子が2歳の頃から17年間という長い間、大変お世話になり心から感謝いたします。

夫を亡くし不安の中で子育てをする日々、心の支え となっておりました。たくさんの方から支えていただ いていること、今後も感謝しながら過ごしていきたい と思っております。

# 匿名希望さん (母)

長男が19歳となり、育成給付金完了のお知らせをいただきました。

夫が事故で亡くなった当初、これからどうしようと不安な毎日でした。子ども達のためにも前に向かって進まないといけないと気持ちを切り替え、懸命に過ごしてきました。長い間ご支援いただき、心からお礼を申し上げます。

次男も希望高校に入学することができ、新しい生活 にも慣れました。まだまだお世話になります。今後とも よろしくお願いいたします。

## 愛知県

# Y・A さん (加入者) Y・R さん (母)

#### ○加入者さまより

まずは、今まで本当にお世話になりました。この給付金のおかげで何不自由ない暮らしを送れましたこと、 心より感謝申し上げます。図書カードも大学の授業などで自身の成長に役立つよう、大切に使わせていただきます。最後に、今まで給付金をいただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。

#### ♡お母さまより

長い間、大変お世話になりまして本当にありがとう ございました。これまでのご支援にはただただ感謝の 言葉しかありません。心よりお礼申し上げます。

# 岐阜県

# S・H さん (加入者)

長い間大変お世話になりました。送付していただいた 図書カードで様々な本に出合うことができました。 ありがとうございました。

私は4月から歯科衛生士の学校へ進学しました。これから3年間、大変なことも多いと思いますが、夢に向かって頑張ります。最後になりましたが、改めてありがとうございました。

# 愛媛県

#### U・Kさん (母)

給付完了のお知らせをいただきました。橋本給付金を ありがとうございました。

息子が4歳、娘が2歳の時に父親が亡くなり、つらいこともありましたが、たくさん楽しい思い出ができました。

息子は地元を離れ東京の大学に通うためひとり暮らしを始め、自分の夢に向かって勉強を頑張っています。 娘と2人になり少し寂しくなりましたが、元気に成長 してくれて感謝しています。





みんながとなりに寄り添う 「もうーつ」の Letters

2024年度の最初となる今号では、これまで読者の皆さんから多くの反響をいただいている\*基金を卒業された保護者様の体験談、を紹介させていいただきます。ご登場いただいた K さんは現在62歳。いまから25年前にご主人を亡くされて、ご自身のお父様とひとり息子さんといっしょに暮らしていらっしゃいます。事故に遭われてからの道のりとともに、読者の皆さんへのメッセージをお聞きしました。

#### 第9回 保護者体験談編

# 東京都大田区 ご長男とともに生きるKさんの場合

夫が事故に遭ったのは、家族3人で息子の七五三の 衣装をお店へ取りに行き、食事をして帰宅したあとの ことでした。夫はひとりでサウナへ出かけまして、その 帰り道に青信号で横断歩道を渡っている最中、暴走してきた車にはねられたのです。病院へ運ばれたのですが、12日後、意識が戻らないまま逝ってしまいました。それからは事故処理の対応に追われる日々……。 加害者は未成年で、事故車は親戚の車検切れの車を 無断で運転し、自賠責保険にも入っていませんでした。 さらに加害者の父親が用意した示談金を加害者が 持ったまま失踪——。裁判をする傍ら、社宅からの 引っ越しや、保険や相続の事務手続きも行わなければならず、本当に大変でした。裁判も含めて事務的な手続きがすべて終わるまで1年近くかかりました。

# ■ 両親と同居して資格を取得。会社を設立

事故後は、実家の両親の家で暮らすことになりま した。家賃は払わなくて済んだので、その点はよかっ たのですが、両親との折り合いがうまくいかなかっ たり、息子が不登校気味だったりと、これまで多くの 紆余曲折があったんですよね。そんな中、自分の心の ケアを目的に心理力ウンセラーとファイナンシャル プランナーの資格を取得したのがきっかけとなって、 会社を設立したのです。資格を取得したら、それまで 関係を築いてきた基金の加入者や育英会の会員の人 たちから、いろいろな相談を受けることが多くなり まして、仕事としてそうした困った人たちのコンサル ティングをしようと思い立ったのです。私の会社で は、ほかに音楽イベントや講演会の運営なども手が けています。売上は決して堅調ではありませんが、 会社の仕事を通してさまざまな方たちとふれあう ことで、生きる力、をもらっている気がしています。

# ■ 実父の介護が一段落。新たなターンに

とはいえ、問題はまだまだあります。母は介護の 末、一年前に他界したのですが、重い障害者の父の 介護問題があります。息子は大学を卒業したのです が、まだ自立していないんです。今年1月から父の ショートステイができるようになったので、これから ゆっくり息子と向き合いながら生きていくつもり です。息子は社会的に頼りない部分がありますが、 心根がやさしく、行動力があり、私を心身ともに助けて くれるんです。

# ■ 辛い気持ちは溜め込まないことが大事

読者の皆さんに私がアドバイスできることがあるとしたら、「辛かったら周囲にいる人にその気持ちを話してほしい」ということですね。人に話すだけで心が軽くなりますし、共感してもらったら、心が柔らかく和むと思うからです。気負い過ぎは、禁物です。子どもは親が生きているだけで幸せなんですよね。読者の皆さんが、そんなふうに考えて気を少し楽にして暮らしていっていただけたらと願います。

#### - (編集部より)

ここで紹介させていただいた K さんのこれまでの困難な道のりはほんの一部で、スペースが限られた誌面ではとても語り尽くせないものでした。しかし、「基金に加入して共通の話題ができる人たちと語り合えたのは、とても力になった」とのこと。「だから、読者の皆さんも関連イベントなどには積極的に参加して、利用してほしい」とおっしゃっていただきました。私どもが加入者の皆様をお支えする力はささやかなものですが、K さんからのお言葉を胸に、これからもよりいっそう交通遺児たちの支援に真摯に取り組みます。基金加入者の方々をはじめ、多くの方々との出会いを大切に活動してまいります。





